

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月20日更新

事務事業名	企業版ふるさと納税事務		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1 自治の健康	所属部	市長公室	課長名 塚本 健洋
	施策	3 財政の健全化	所属課	秘書政策課	担当者名 福田 敦
	施策の柱	14 自主財源の確保	所属班	秘書政策班	(内線) 1212
予算科目	会計一般	款 2 項 1 目 12 事業連番 11785 根拠法令	地域再生法 13条の2 地方税法、租税特別措置法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 2年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 2 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)とは、国が認定した地方公共団体の地域再生計画に掲げる事業に対して企業が寄附を行った場合に、税制上の優遇措置を受けられる制度です。 この企業版ふるさと納税を獲得するためには、多くの企業に市の事業を広報していくことが重要である。そのため、民間企業が運営する企業版ふるさと納税プラットフォームを活用し、事業PRの企画検討や企業への寄附営業を行う。また、オンラインによる寄附システムを活用することで、寄附受け入れ事務や企業側の事務の簡素化を行う。
【業務の流れ】	企業版ふるさと納税プラットフォームと契約→寄附募集企画検討、協議・ポータルサイトへ事業掲載→企業への営業→寄附→寄附受領証の発送→寄附実績による委託料支払い
【主な予算費目】	委託費
【意見や要望】	財政負担の軽減のため、早急な企業版ふるさと納税の活用が求められている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	企業版ふるさと納税プラットフォーム(river、ふるさとコネクト)の契約を行った。プラットフォームを活用し、事業PRの企画検討を行い、オンラインによる決済をできるようにした。 <small>【基準に達しなかった理由】 寄附額に応じて支払うプラットフォーム運営会社に対する手数料について、補正予算計上以降に寄附の実績がなかったため。(11,000円の支出については、プラットフォームへの掲載委託料)</small>	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 企業版ふるさと納税プラットフォームを活用し、多くの企業へ本市の事業をPRする。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 → イ プラットフォームを活用した納税件数	予算の主な増減の理由 令和2年12月に予算の補正を行い、企業版ふるさと納税プラットフォームの活用を開始し、令和3年度も継続するため、委託料の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市の財政		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア 企業版ふるさと納税額 千円 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 企業版ふるさと納税をしてもらう。		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア 企業版ふるさと納税件数 件 → イ
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠 企業版ふるさと納税を多く獲得することにより、市の一般財源の持ち出しを抑制し、健全な財政状況を保つ。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込	
① 活動指標	ア 件				1	0	7	15	15	15	
② 対象指標	ア 千円				1,000	1,000	4,000	20,000	20,000	20,000	
③ 成果指標	ア 件				2	1	10	20	20	20	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円					500	2,572	2,572	2,572
		繰入金	千円								
	一般財源	千円				11	120				
	(A) 事業費計	千円			0	11	620	2,572	2,572	2,572	
	(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0		
	(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	0		
人件費	正規職員従事人数	人			2	1	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間			180	800	720	720	720	720	
	(B)人件費計	千円			717	3,154	2,868	2,868	2,868	2,868	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			717	3,165	3,488	5,440	5,440	5,440	

事務事業名	企業版ふるさと納税事務	所属部	市長公室	所属課	秘書政策課
-------	-------------	-----	------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 令和2年度は新たに1件の寄附があった。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 企業への周知等を行うことで、市の取組みの更なる周知を図る。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 企業版ふるさと納税の制度については、周知等に改善の余地があるため、今後も引き続き、制度及び市の取組について企業に周知を行う。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ふるさとコネクト等を通じ、県内外の企業に対し周知を行っているが、ホームページへの掲載等必要最小限の経費としている。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 人件費は計上していない
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						